

日本社会情報学会ニュース

第32号 2008. 12. 25

- I 研究発表の公募のお知らせ
- II 第52回日本社会情報学会(JSIS) 理事会議事録
- III 会費納入のお願い

.....

I. 研究発表の公募のお知らせ

JSIS 企画委員会&研究委員会 presents 若手研究者支援企画 第2弾 公募型&実践型ワークショップ

JSIS 企画委員会では昨年より、若手研究者支援企画として、公募による査読付き報告&現場との実践型のワークショップを開催しております。研究環境が厳しくなる中で私たちは、ますます自らの研究の社会的意義や必要性を問われています。そこで実社会で、各領域を牽引する第一人者をコメンテータにお招きし、その前で報告することで研究スキルを高めつつ、通常の学会報告では得られないコメントを得て、さらに人的なネットワーキングやチャンスを掴むきっかけとなるような場をつくりたいと考えています。

2009年度は地域情報化をテーマに、JSIS 中部地区研究例会とコラボレーションして、以下の要領で開催します。テーマに従い、地域を構成する3領域から、それぞれを代表する第一人者をお招きする予定です。刺激的で将来に繋がるコメントをいただき、今後に繋がるネットワーキングができるのではと期待しています。

そのために若手研究者の発表を公募します。応募報告は、企画委員会の査読によって以下の要領で選抜されます。分野も限定しませんし、職業・所属も研究機関でも一般企業・NPO などでもかまいません。今回はJSIS 会員以外にも広く公募します。ぜひ多くの方々の投稿・ご参加をお待ちしております。

テーマ：「情報化する地域—地域のどこに情報があるのか？地域はそれを活かせるか？」

日時：2009年3月15日(日) 13:00~17:00

(終了後にコメンテータを囲んでの懇親会を開催いたします。)

場所：名古屋大学大学院 情報科学研究科 (東山キャンパス・不老町)

コメンテータ

1. (行政・政府自治体サイド) 総務省情報流通行政局地域振興課
地域行政施策の立場から、実践的なコメントをいただきます。
2. (企業サイド) 井上滋樹 (株)博報堂 MD 統括局
ビジネスサイドから、国内外のUD事例などを元に幅広くご意見をいただきます。
3. (住民・市民サイド) 大西光夫 NPO 法人ボランティアネイバーズ理事長
市民・NPOの第一人者の視点から、社会的意義を問えるご意見をいただきます。
4. (研究者サイド) 加藤晴明 中京大学現代社会学部教授 (中部担当研究委員)
研究手法・報告の仕方の観点からのアドバイスをいたします。

発表応募要項

- ・ 内容：地域情報化に関する社会情報学的な報告。(文系・理系を問わず、関連して

いれば萌芽的研究で構わない。) 詳細は下の「テーマ解題」を参照。

- ・ 締切：2009年2月15日(日) 厳守のこと
- ・ 投稿資格：現在40歳以下、ないしは研究歴10年程度の若手の研究者(所属・会員資格などは問わない)。
- ・ 応募方法：以下の内容をメール本文に記載すること。
 - (1)氏名・年齢・所属(40歳以上は研究歴を添付のこと。書式自由。)
 - (2)報告タイトル
 - (3)報告要旨 200字程度
 - (4)報告の社会的な意義、独創性の自己推薦コメント 100字程度また、以下のデータを投稿時に添付すること。
 - (5)報告論文 A4一枚以内の論文 or レジюме、ないしは6枚程度のスライドを添付できる。形式はMS-Word、MS-PowerPointで読むことができるか、ないしはhtml形式であること。ファイル名は任意。
 - (6)写真・図表はjpg形式で一枚のみ添付できる。これら以外は添付できない。
- ・ 提出先：ahattori@ic.kanagawa-it.ac.jp(神奈川工科大学 服部哲)
- ・ 報告時間は15分。コメント、質疑応答で15分の予定。
- ・ 会場にはプロジェクタとパソコン(MS-PowerPoint)を用意します。発表形態は通常の学会報告より自由にしますので、試作品展示、模擬実験など、プレゼンテーションを工夫してもかまいません。詳細は企画委員会担当者までお問い合わせください。
- ・ テーマ解題：
「情報化する地域—地域のどこに情報があるのか？地域はそれを活かせるか？」

過疎化・不況などにより疲弊する地方の振興策として、または社会関係を喪失し孤立させる都市の改善策として、「地域の情報化」が着目されている。それは自治体行政の情報化から、地理情報(GIS)を活用した情報支援・災害支援、ユビキタスによる地域通貨や商店街活性化、住民自らによる情報共有サイトの構築など、あらゆる分野で広がりを見せている。

もっとも地域の情報化は、最近はじめた話ではない。前世紀から、常に情報技術は地域生活への導入が図られ、いくつもの“画期的”と称される取り組みがなされてきた。それらの大半が、充分根づかないまま終わってしまったからこそ、現在でもなお、地域情報化が語られ、目指されているのだといえるだろう。

なぜ私たちは、未だ自分たちの地域について、充分知り得ないのか。なぜ住民による地域情報の活用が、未だ十分に達成されないのか。地域の情報化は、現代の情報科学・社会科学・人文科学に共通する問題として、より多角的に取り組まなければならない。

私たちは、いかに地域の良質な情報を収集し共有できるのか。それがいかなる地域の変革をもたらすのか、そして地域は、自らの力で発展していけるのか。地域情報化を技術と社会の多様な側面から再考してみる機会を提案したい。地域情報化の第一人者を、行政、ビジネス、そして住民・NPOの3領域からお招きし、理系・文系問わず積極的に議論し、その後の協働に結びつけることを狙う。多くの皆さんのエントリー、参加を期待している。

(企画に関するご質問は 企画委員会内担当・柴田邦臣 k.shibata@otsuma.ac.jp まで)

II 第52回日本社会情報学会 JSIS) 理事会議事録

日時 2008年12月6日(土) 13:30~15:50

場所: 東京大学大学院情報学環 6階会議室

黒須俊夫(会長)、遠藤 薫(副会長)、大國充彦(副会長)、今田寛典、北村順生、柴田邦臣、守弘仁志、森谷 健、安田孝美、吉田 純、加藤晴明(監事)、岡田安功(総括理事)、藤井史朗(事務局長)

報告事項

1. 第51回理事会以降の活動について

イ. 編集委員会

i 和雑誌編集委員会

北村和雑誌担当副委員長より、13巻第1号がまもなく刊行されること、13巻2号に11本の投稿があり、査読へまわす旨報告された。また、次回シンポジウムを特集号として組めないかとの提案があった。

ii 洋雑誌編集委員会

今田洋雑誌担当副編集委員長より、Vol.1を配ったこと、また、目次についてWeb公開しているが、ホームページからのリンクが期待されているとの報告があった。著者名、論文名での検索などを含め、対応したい旨提案された。

また、Vol.2については、11月末に投稿を締め切り、招待論文1本、一般論文8本の投稿があった旨報告された。

これらについて議論し、リンクを早急に行うこと、またこの手続きは、編集委員会から事務局への要望を事務局がWeb委員会に通知する形であることが確認された。また、HPの更新が遅いのではないかとの質問があり、Web委員会で全面的リニューアルを検討中であるとの回答があった。

ロ. 研究委員会

柴田研究委員より、九州地区の研究集会開催について報告された。また、守弘副委員長より、10月18日に、「持続可能な地域社会と人材育成」についてJASI九州支部との共催での研究会が開かれた旨報告された。これには、熊本県の自治体関係者中心に70名参加し、JSIS関係者は10名くらい参加した。

ハ. その他の委員会

大國企画委員長より、学会Webについてメーリングリストを整備し、事務局長からの更新依頼を受けて対応する体制を整えたとの報告があった。

また、若手支援企画について、第2段として地区研究例会と共同開催し、名古屋大学と3月頃に地域情報化についての研究会を開く旨報告された。コメンテータとして行政・企業・NPOからお願いし、学会からは加藤氏にお願いする。

これについて、Webリニューアルの進行についての質問、また、更新しづらい構造であるため、わかりやすい仕組みにしたいなどの回答があった。

2. 2008年日本社会情報学会合同研究大会について

柴田理事より、2009年度新潟大学での合同研究大会開催準備について報告され、大会予稿集について、Webに掲載するか改めて諮るとの報告があった。

3. 事務局

i 会員状況および会費納入状況について

藤井事務局長より、12月5日現在の会員数と会費納入状況について報告された(この時点では、2008年度会費納入率40%強であったが、その後の集約および納入により、納入率は62.6%となっている。一別紙資料)。

ii 会費自動引き落とし移行作業の進行状況について

事務的な手続きを進めており、来年1~2月に引き落としを行う旨報告された。

iii 来年度名簿作成業務に向けての課題

前事務局の進めてきた確認作業を再確認するとともに、新たに会員に名簿記載事項の確認を行い、来年度大会に向けて名簿を作成するとの報告があった。

iv 長期滞納者の休・退会処置について

昨年度総会の決定では、3年以上会費滞納者に対する退会処置の実施であったが、本年度は、ある程度現実的な対応を図り、8月のニュース郵送時に、5年以上滞納者に対して、会費再納入・休会・退会の希望をハガキで確認した旨報告された。また、今回のニュース郵送時に、再度確認し、本年度末までに回答がない場合は、休会措置とすること、また、来年度においても同様の措置を採りたいとの提案があり、承認された。

v 2008年度中間会計報告

2008年12月5日現在の支出状況について報告された（別紙参照）。

vi 学会誌の学術図書登録作業について

郵送料軽減につながる学会誌の学術図書登録作業について、来年1～2月に行う旨報告された。

vii 「社会学系コンソーシアム」の情報提供要請への対応について

日本社会学会関係の「社会学系コンソーシアム」から、JSISイベントのホームページ掲載に当たっての情報提供要請に対応し、こちらのHPから関連記事を転載することを認めたいとの提案があり、了承された。

viii その他

学生会員の就職後の変更届をHPからダウンロードできるようにすべきとの意見があり、整備することを確認した。

審議事項

1. 第51回理事会議事録（案）の承認について

岡田総括理事より、第51回理事会議事録案について説明があり、承認された。

2. 入・退会の承認について

藤井事務局長より、入会者 33名（うち、学生会員 21名）+1名（再入会者）退会者 8名+1名（休会者）との現状が報告された。

3. 名誉会員について

黒須会長より、名誉会員規定に基づき、阿部圭一前会長を名誉会員に推薦したい旨提案があり、了承された。

また、岡田総括理事より、会員の理事歴について整理したいとの報告があった。

4. 大会予稿集のウェブ公開について

安田理事より、大会予稿集のWeb公開を今年度も認めてほしいとの要請があり、承認された。

5. 2009年度第14回研究大会の日程について

北村理事より、2009年度の研究大会の日程を、9月11日（金）～13日（日）にするとの提案があり、承認された。

6. 学会開催補助金制度への応募について

北村理事より、新潟でのコンベンション学会補助の申請を行いたい旨提案があり、了承された。

7. 投稿要領、査読基準等の改定案について

橋元編集委員長より、投稿要領、査読基準等の改定案について報告された。種別として「研究」を設けること、また、投稿に際し、これまでのフロッピーをやめ、電子メールでの添付ファイルとすることなどが提案され承認された。

投稿における「二重投稿」問題について、その判断基準等について意見交換された。

和雑誌の投稿先について、これまでの事務局から、会費担当事務に一貫させてはどうか、

との提案があり、委託料なども含め、検討することとした。

8. 学会誌の定価について

i “Journal of Socio-Informatics” の定価

岡田総括理事より、JSIS が現在 1650 円としている価格について適正かどうかという問題提起がなされ、JASI の価格を調べて統一価格で対応する方針が確認された。

ii 「社会情報学研究」の定価

岡田総括理事より提案があり、議論の結果、年 1 回の時期のものは 1500 円、年 2 回のものは、一冊 1000 円とすることにした。

9. 会員名簿について

岡田総括理事より、会員名簿の発行を、来年度の大会時期に行うことを再確認してほしいとの要請があり、承認された。

10. 次回理事会の開催日程について

次回理事会を 3 月 8 日（日）13 時 30 分から東京大学大学院情報学環において行うことを確認した。

11. その他

岡田総括理事より、遠方から参加する理事に対し、宿泊費を学会費で保証してはどうかとの提案があり、特に開催場所での宿泊場所の有無等を考慮し、現実的に対応することとした。

藤井事務局長より、午前から午後に連続する委員会などの場合に、会員の昼食費などを学会費で援助してはどうかとの提案があり、承認された。

Ⅲ 会費納入のお願い

本年度すでに数回会費納入のお願いをいたしました。おかげさまで、現在 2008 年度会費納入率は、62%を超えております。また、自動引き落とし手続きの継続も準備中であり、2009 年 2 月には引き落とさせていただき予定です。

しかしなお、複数年滞納の方も少なくなく、今後さらに、学会のサービスを充実させるべく、会費納入にご協力いただきたいと思います。

今回、再度請求書と振込用紙を同封いたしましたので、ご確認の上、納入いただけるようお願いいたします。もしも、事務局の誤認があれば、ご連絡下さい。

なお、5 年以上滞納しておられる方で、今回の納入、あるいは連絡がない場合は、2007 年度大会決定に基づく休退会措置を採らせていただきますのでご了承下さい。

日本社会情報学会（JSIS）事務局

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北 3 丁目 5-1
静岡大学情報学部 藤井研究室気付
TEL&FAX 053-478-1522（直）
e-mail : s-info@inf.shizuoka.ac.jp
URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

日本社会情報学会（JSIS）振替口座（ゆうちょ振替口座）

- ・口座名 日本社会情報学会
- ・口座番号 00140-2-763005
- ・口座住所 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内 日本社会情報学会（JSIS）
会費担当 和泉恵子